

平成27年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 メタウォーター株式会社	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 濱 大介（CSR推進室 広報IR部） TEL. 03-6853-7317 E-mail:hama-daisuke@metawater.co.jp
代表者氏名 代表取締役社長 木田 友康	
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 企業・団体等広報部門	事例名 社外向け広報活動の強化で下水道の価値をPR
-------------------	------------------------------

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

1. マスメディアを通じた広報活動

水インフラの重要性を一般市民に伝えるため、マスメディアとのリレーションシップを再構築。新技術の開発や下水道技術を導入した施設完成などの情報をきめ細かく発信し、一般紙、業界紙・雑誌での記事掲載を2013年度の1.5倍超まで増加させた。

これにより市民がこれまで以上に下水道の情報に触れる機会を創出し、下水道価値の理解を促進させることができた。

2014年度広報発表実績

	2013年度	2014年度	前年比	備考
広報発表件数 *1	49件	79件	161%	・リリース形式でメディア配信 ・自社HPにも掲載
記事掲載件数 (うち日経新聞)	354件 (50件)	540件 (104件)	153% (208%)	—

\*1 水インフラ関連情報全体での件数

2. 社外HPを通じた広報活動

下水道展の出展内容を自社HP上で動画で配信。出展内容を説明員が音声で紹介することにより一般市民に下水道技術を身近に感じてもらえるよう工夫を行った。



下水道展紹介ページ

エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

○事業活動と絡めた下水道情報をタイムリーに数多く発信することで、自然に下水道への理解を深めてもらうことができる点。

○HPはいつでもどこでもアクセス可能で、動画など映像を通じた情報発信も可能であることから、活用次第で高いPR効果を生むことができる点。

付属資料の提出	なし
---------	----